

平成21年10月28日

各位

上場会社名 住友ベークライト株式会社
 代表者 代表取締役社長 小川 富太郎
 (コード番号 4203)
 問合せ先責任者 経理企画本部副本部長 寺島 郁朗
 (TEL 03-5462-3452)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	△2,000	△1,000	△2,200	△9.13
今回発表予想(B)	78,900	150	500	△2,200	△9.13
増減額(B-A)	△6,100	2,150	1,500	0	
増減率(%)	△7.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	119,933	5,179	6,502	2,700	10.66

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	△2,600	△500	△400	△1.66
今回発表予想(B)	48,000	△490	△160	△1,630	△6.76
増減額(B-A)	3,000	2,110	340	△1,230	
増減率(%)	6.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	59,648	877	3,914	1,455	5.75

修正の理由

第2四半期累計期間は、昨年度発生した金融危機による需要の大幅な減少と急激な在庫調整の影響が一服し、個別決算の売上高は、当社主力の半導体・情報通信関連事業などの販売が順調に回復し、当初の予想を上回る見込みとなりました。連結決算の売上高においても、全般的に販売が回復してきておりますが、期前半において主に海外地域の販売の回復が足踏みしたことが影響し当初の予想を下回る見込みです。

一方、利益面では、コスト削減と前年度から国内外で推し進めてきた事業体質改革の効果が当初想定以上の速度で収益に寄与しはじめたことなどにより、連結決算では海外子会社の損益は本年1月～3月を取り込んでいるため僅少ではありますが、営業利益および経常利益が黒字化する見込みです。しかしながら特別損失に期末株価下落による投資有価証券評価損および前年度に引き続き更なる事業再建にかかるリストラ費用などを計上することなどにより、四半期純利益は、結果としてほぼ当初予想どおりとなる見込みです。個別決算では、上述の要因により営業利益および経常利益は前回予想を上回る一方で、四半期純利益は投資有価証券評価損や事業再建関連費用などの特別損失を計上するため当初の予想を下回る見込みです。

なお、平成22年3月期通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想につきましては、11月6日に予定しております第2四半期決算発表時に開示させていただく予定です。

※上記予想は作成時点において当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績は事業環境など様々な要因によりこれらの予想と異なる可能性があります。

以上